

放送大学学園理事に聞く

放送大学学園は、昭和56年特殊法人として設立され、その中に教育機関としての放送大学と、その講義番組をラジオとテレビを通して送信する放送局を持っている。したがって、国公立大学に準じた財務・管理機構と私立大学にもない程の社会に開かれた教育を運営する任務があり、放送大学学園の理事の職務は新しく、しかも大きな役割を担っている。今回、総務、財務、放送をそれぞれ担当する三人の理事の方々へのインタビューを試みた。ここでは、理事という立場を離れ、個人的にその職務、放送大学の現在と展望について、大いに語っていただくという趣旨である。

なお、インタビューの聞き手は、大塚理事については塩崎千枝子（放送教育開発センター助手）が、石井、平野理事については、島田裕巳（放送教育開発センター助手）が当たった。お忙しい中、こころよくインタビューに応じていただいた理事の方々に感謝したい。